

Dresden phil

ドレスデンフィル弦楽三重奏団



と き 2013年7月4日(木) 石井里奈 ピアノ
午後7:00 開演 6:30 開場

ところ 刈谷市総合文化センター 小ホール

入場料 2,000円 (全自由席・当日2,500円)

プログラム

モーツァルト：弦楽三重奏のためのディベルティメント変ホ長調K 563

モーツァルト：ピアノ四重奏曲第1番ト短調K 478

主催 このはな音楽祭実行委員会 0562-46-0115 間瀬
後援 刈谷市教育委員会

pia.jp/t



0570-02-9999

【チケットのお求めは】

刈谷市総合文化センター窓口

チケットぴあ：0570(02)9999 サークルK セブン/イレブン各店
(Pコード198-658)

未就学児の入場は、ご遠慮ください

プロフィール

ドレスデンフィルハーモニー弦楽三重奏団

チャイコフスキー、ドヴォルザーク、ブラームスなどが自ら指揮したドレスデンフィルは国立歌劇場管弦楽団(シュターツカペレ)と共に古都ドレスデンの名門オーケストラである。そのトップメンバーによって1996年に結成されたこの弦楽三重奏団はザクセン派の弦楽の伝統と新しい時代が要求する要素を融合し、世界的に高く評価されている。

ハイケ・ヤニケ (ヴァイオリン)

5歳よりヴァイオリンとピアノのレッスンをドレスデンで始める。音楽大ではハインツ・ルドルフ教授、グスタフ・シューマル教授に指導を受け、マイスターコースではヨセフ・スーク教授とマックス・ロスター教授に付く。ウォルフガング・マルシュナーのもとで、ソリスト試験を終了してからは、次々と国際コンクールで賞を獲得、1985年のジェノアの音楽コンクール、1987年フリッツ・クライスラーコンクールでの受賞に引き続き、ケルンのゲオルグ・クーレンカンフ賞、オーデンセのカール・ニルセン賞、1989年にはマルセイユでジノ・フランチェスカッティ賞を受賞した。ドレスデンフィルの第一コンサートマスター

アンドレアス・クールマン (ヴィオラ)

6歳よりヴァイオリンを始め15歳でヴィオラに転向。エッセンのfolkヴァン音楽院でコンラッド・クラヘ教授に師事。トロッシンゲン、デュッセルドルフでエミール・カント教授に師事。更にパリのセルジコロ教授のもとで学ぶ。ドレスデン青年フィル、ベルリンフィルのメンバーを経て、ドレスデンフィルへ移る。ドレスデン・カルス・アンサンブルを設立。またドレスデンフィルカルテットのメンバーでもある。

ウルフ・プレーレ (チェロ)

アメリカのサールカルテットで研鑽を積む。ザラ・ネスロヴァに師事。その後バーゼルのトーマス・デメンガ、ケルンのボリス・ベルガメンチコフに師事。ベルリンフィルのカラヤンアカデミーの奨学生となり音楽学校コンクールで第一位になった後、シンシナティ管弦楽団、バーゼル交響楽団のメンバーとなる。室内楽を多くの演奏家と共演し、1990年シュトゥットガルトのバルケットコンクールで入賞する。1992年ドレスデンフィルの第一ソロチェリストになると同時にドレスデンフィルカルテットのメンバーになる。

石井里奈 (ピアノ)

愛知県犬山市出身、中学卒業後渡米。ミシガン州私立インターロックン芸術高校、オハイオ州クリーヴランド音楽院ピアノ演奏科を経て、2006年南カリフォルニア大学音楽部大学院ピアノ演奏科を満場一致の最優秀にて卒業、併せてディプロマ取得。

奨学生としてインターロックン音楽祭に3度参加、その他にもクリーヴランド在学中にカリフォルニアサマー音楽祭、大学院在学中にはコロラド州アスペン音楽祭、カナダオーフォード音楽祭に参加。インターロックン音楽祭にてコンチェルトコンクール優勝。オーケストラと共演。ヴァンクライバーン賞を受賞。各音楽祭の定期演奏会等に出演。これまでにアメリカで6度、日本で4度のソロリサイタルを開催し好評を得る。

これまでにピアノを故松岡晴子、松岡三恵、ベンジャミン・ユー、スティーブン・ペリー、ポール・シェンリー、キャサリン・ブラウン、ジョン・ペリー各氏に、室内楽をエリザベト・クッフエラート、ピーター・サラフ、ダニエル・シャピロ、キャサリン・ブラウン各氏に師事。現在ソロをはじめ室内楽等で東海地方を中心に活動中。演奏活動の傍ら後進の指導にも力を注いでいる。